

第1回ワークショップ
MINATOビジョン・タウンフォーラム
産業・地域振興グループ（第6グループ）

会議録（第1回）

■開催日時・場所・出席者

日 時：令和7年8月15日（金）18時30分～20時30分

会 場：港区役所9階 915会議室

メンバー：10名（欠席者4名）

【内訳】対面参加8名、オンライン参加2名

事務局：企画課グループ担当2名、サポートメンバー3名、委託事業者3名（うちファシリテーター1名、グラフィックレコーダー1名）

■次第

（開会）

- 1 事務局及び委嘱式欠席者挨拶
- 2 タウンフォーラムの進め方について
- 3 検討内容のまとめ方について
- 4 検討テーマに関する議論
 - ・守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史
 - ・港区の誇るべき特徴・長所
 - ・港区の将来像（理想の将来の港区の姿）の検討
- 5 事務局より連絡

（閉会）

■配付資料

- 資料1 第1回グループ会議進行資料
- 資料2 タウンフォーラムの進め方
- 資料3 検討内容のまとめ方
- 資料4 MINATOビジョンの策定に向けた「みんなの声」
- 資料5 オンラインツールの活用について
- 資料6 第2回グループ会議検討内容
- 資料7 タウンフォーラムの各グループで取り入れたい要素

■貸与資料

なし

■会議要旨

(開会)

リーダーより、第1回グループ会議開催にあたっての挨拶及び開会宣言を行った。

1 事務局及び委嘱式欠席者挨拶

事務局職員及び委嘱式欠席者が紹介された。また、資料2～4の説明が行われた。

2 タウンフォーラムの進め方について

事務局より、第1回から第3回のグループ会議及び報告会の概要について説明が行われた。

3 検討内容のまとめ方について

事務局より、第1回及び第2回グループ会議の検討経過がグラフィックレコーディングとなることや、報告会では、港区全体の将来像が1つ、分野別の将来像がグループごとに7つのたたき台が出来ることを説明が行われた。

また、5月以降に実施したアンケート結果等をまとめた「MINATOビジョンの策定に向けた「みんなの声」」を将来像の検討に活用してほしいと要望があった。

4 検討テーマに関する議論

ファシリテーターより、グループワークの進め方、ねらいについて説明が行われた。ラウンドごとの意見を付箋に書き出して意見を発表しながら、模造紙上で意見を分類した。

(1) 第1ラウンド 守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史

参加者：若手起業家が育つ・行きたいと思える街なのは誇りであり、大切にしたい。また、インバウンドが増加する中、品のある文化交流がされている印象である。

参加者：歴史と革新が融合している街だと思う。

参加者：区に長く住んでいる人と移住者との関係がフラットであると感じる。

参加者：酒蔵が23区で唯一酒蔵がある。また、歴史面では、寺社仏閣、芝・大門の歴史、祭り・文化、初等教育発祥の地、増上寺の赤門保全などがある。美術館も多い。

参加者：シンボルとして東京タワーやベイブリッジ、ミッドタウンなどがある。また、坂の多い風景や海、公園などの景観面が良い。

参加者：町会・商店会の伝統は残していきたい文化である。お祭りなどの地域の賑わいづくりにもつながっていると思う。名店や食も残していきたい。

参加者：麻布十番や白金などの地域に古い町並みが残っている。

参加者：区民の健康のリテラシー（健康意識）が高いので、これからも広げていきたい。施設もイベントも多い印象がある。

参加者：港がある。赤坂御用地や迎賓館、高輪皇族邸など、皇族とゆかりのある地が多い。

参加者：現在の景色だけでなく、関東大震災や戦前・戦後、港の埋め立て前後などの歴史、大使館なども正しく残していく必要があると思う。大規模な再開発も多いので、その歴史もつないでいきたい。

(2) 第2ラウンド 港区の誇るべき特徴・長所

参加者：子育て支援が多い。

参加者：高齢者にも手厚い。

参加者：交通インフラが整備されている。リニア中央新幹線の開通も予定されている。

参加者：ゴミがなく、街がきれい。環境への配慮や取組も進んでいると思う。

参加者：区役所の方がいい方ばかり。

参加者：経済面では、大企業があり、起業家も多い。イノベーションテクノロジーなど先端技術を活用したスタートアップもある。

参加者：協力し、新しい時代を創り出す能力があると思う。

参加者：おしゃれな街が多く、区の中がブランディングされていると感じる。

参加者：人口が増え続けている。地区単位で行政を持っている。

参加者：ミシュランの三ツ星レストランの数が世界一。

参加者：大使館・領事館の数が日本一。

参加者：異文化や時代の変化を受け入れる度量がある。

参加者：オープンな姿勢であると感じる。

参加者：下町、都会、海、景観面、芝公園、サラリーマンの町新橋など、多様な側面がある。

参加者：治安が良く、生活がしやすい。帰りたくなる街であると思う。

参加者：環境、交通インフラ、おしゃれ系、食、利便性、福祉、子育て、国際、テクノロジー、教育などで大別できそう。

参加者：子どもの数が増えている。教育関係としては、大学の存在や、小学校の充実があるのではないか。IT教育も実施している。

参加者：保育施設が充実していて、待機児童がいない。

(3) 第3ラウンド 港区の将来像（理想の将来の港区の姿）の検討

参加者：バリアフリーへ注力している。イベントが多い。道路や街並みの改善。独居老人の住みやすきなど福祉面が充実している。多様性を受け入れている。

参加者：治安が良い街。

参加者：伝統と革新。

参加者：文化、食文化の発信地。

参加者：教育面で、テクノロジーと教育の連携。起業家教育を発展させたい。

参加者：大企業や大学もあるので、産学連携も進めたい。

参加者：日本をリードするテクノロジーを発信。

参加者：芝浦辺りのウォーターフロント（海）を活用してほしい。ほかの区との連携も。

参加者：交通インフラの整備。

参加者：自然や世界文化が共存。

参加者：働いている人と住んでいる人が交わることができる場があると良い。

参加者：人にやさしい制度やルールがあってほしい。

参加者：健康イベントを増やしたり、AIテクノロジーを活用するなど充実させてほしい。

参加者：地域の祭りが残ってほしいけれど、スマート化は進んでほしい。

参加者：人とのつながりやコミュニケーションを大切にできると良い。

参加者：既存のコミュニティはクローズドな部分があり、充実している一方で参加しづらい部分もある。

参加者：余裕があるからこそ、他自治体のロールモデルになりたい。経済面で、シンガポールなどとも張り合える街になってほしいと思う。

参加者：シリコンバレーのような、わかりやすいイメージがあると良い。

参加者：港区全体のブランディング。今日の会議で出たような優れたコンテンツが埋もれないように区外への発信強化が必要だと思う。美術館などがたくさんあるので、区内の美術館などが連携し、区全体に広がるアートのイベントが充実すると良い。

参加者：他区では、神社とアイドルがコラボするなどして、発信に成功している事例もある。

参加者：エリアごとの特徴のエッジが立つようにすることで、ファン化につながる気がする。

参加者：敷居の低さをアピールしていくことも重要なのでは。イメージが先行している。

参加者：人々が循環し続ける街。

参加者：常に進化する街でありたい。

参加者：港がある街、お台場のプレゼンス向上。

参加者：スポーツが盛んな街。

参加者：多くの魅力を残して、発信していく必要がある。

参加者：日本の玄関口としてのプレゼンス。

参加者：港区は憧れられる街なので、残してほしい。

参加者：既存のお祭りを区民まつりなどで紹介し、参加のハードルを下げ、テクノロジーを活用して魅力を発信していったほしい。

参加者：教育の部分ももっと力を入れた方が良い。それは子どもだけでなく、テクノロジーや起業家教育にも関わってくると思う。歴史、ブランディング、テクノロジー。かけ合わせて膨らませることができれば面白い。

(4) 全体を通じての意見

参加者：エリアによって特徴があり、強みが異なる。この強みをどのように生かしていくのか、それぞれの強みを線でつなぎ、ネットワークを広げていくのか考えられると面白い。

参加者：港区の特徴を横連携させ、港区にしかできないことを追求すると良い。

参加者：線でつなげていくと、区をより魅力的に見せられると良いと思う。

参加者：日本で初めて、世界で初めてなど、他の地域を真似るのではなく、チャレンジ精神を持って、イノベーションしていくことが必要だと思う。

参加者：港区は魅力がたくさんあることが分かった。たくさん刺激をもらった。

参加者：「港区出身だから」「港区だから」というポジティブなイメージを持ってもらえる将来をイメージできた。

参加者：港区の強みをどのように生かしていくのか考えていきたい。

参加者：港区のことを知り、ポテンシャルの高さを知った。今回グループ分けしたものを組み合わせると唯一無二のものができると思う。

5 事務局より連絡

事務局より、会議終了後の意見交換の手段として、オンラインツールの活用についての案内があっ

た。また、第2回グループ会議の検討内容及び各グループで取り入れたい要素について説明が行われ、次回会議の日程が確認された。

(閉会)

リーダーが閉会を告げ、終了。